

湖国の文化力、受発信！

2025年10月

秋

since 1977

193号

湖国と文化

特集 朽木と生きる ～〈村〉の底力

オザキマサキ、石田敏、嶋田奈穂子、米田実 ほか

うみ
湖と生きる 林業家 栗本慶一さん

国宝指定 琵琶湖疏水特集 宗田好史 ほか

曙光に輝き始めるココンバの滝（朽木小入谷） 撮影・オザキマサキ

特集

朽木と生きる ～<村>の底力

1 プロローグ

2～13 写真グラフィック 朽木

写真・オザキマサキ(11頁は辻村 耕司) 文・編集室

山 天然スギ/木 トチノキ/芽 タネカラプロジェクト/

水 針畑川/祈り シコブチ神社/歴史 旧秀隣寺庭園/

祭 伊勢大神楽/六斎念仏 古屋/道 若狭街道/結 丸八百貨店

14～15 朽木・村の底力～持続力の源泉

写真・オザキマサキ 文・山本 晃子

<朽木と生きる>

18～23 湖(うみ)と生きる 林業家 栗本慶一さん

聞き手・三宅 貴江、水田有夏志 写真・オザキマサキ

24～27 歴史・伝承と生きる～貴人・将軍・信長も逃れ来た

石田 敏

28～31 川と生きる～それぞれの「大川」とシコブチ神

嶋田奈穂子

<朽木 見つける・見つめる>

32～34 古屋六斎念仏継承活動10年 生まれた「多様なまある場」

武田 力

35 山も六斎も完成はない～古屋六斎念仏踊保存会会長 梅本一義さん

三宅 貴江

36～37 Uターンでふるさと再発見～原風景への誘い

西川 明夫

38～39 暮らし・手仕事 私の宝～移住40余年

海老澤秀夫

40～41 朽木でひらいた暮らしの扉～未来へ続く道

廣清 乙葉

42 朽木の宝ものトチノキ

小松 明美

43 地元の雑木の種から森の少子化対策

清水 美里

44～49 朽木谷に魅せられた民俗学者一橋本鉄男と『朽木谷民俗誌』

米田 実

特集 国宝指定 琵琶湖疏水

69～75 琵琶湖疏水の世界史的価値と京都・大津

京都府立大学名誉教授 宗田 好史

76～77 琵琶湖疏水の歴史と意義

琵琶湖疏水記念館 吉田 武弘

カラーグラビア

58～59 祭の美 祈りのかたち ⑲ ごんぼ祭り(甲賀市信楽町上朝宮) 写真・文 川島 朱実

60～61 琵琶湖センス・オブ・ワンダー ⑲ 魚類標本

文・琵琶湖博物館 川瀬 成吾 写真・オザキマサキ

62～63 万葉の旅人 ⑲ 青旗の木幡の上を

文・曲 林 博通 画・鈴木 靖将

64～65 近江の里の仏たち ③ 大光寺(守山市)

琵琶湖文化館 和澄 浩介

66～68 食まなび館へようこそ!! ⑩ ひとかわずし

鳥本登志子、中村 紀子、肥田 文子、堀越 昌子、写真・浅井 千穂

連載

50～53 近江の懐(ふところ) ③④ 近江八幡旧市街地

成安造形大学附属近江学研究所 加藤 賢治 石川 亮

54～56 歴史の玉手箱 ③⑥ 醒井養鱒場と博覧会

県立公文書館 石堂 詩乃

82～83 ぶらり近江はっけん伝 ③④ 大津駅前 中央大通り

歩くブログ記者 岸野 洋

84～85 トムさんの日野暮らし ②⑩ 祖母からの贈り物

トム・ヴィンセント

シリーズ

78～81 滋賀県の文化

えんむすび・Made in Shiga・県美への誘い・オペラ日和

86 北から南から

大藤 寛子、大谷 隆

87 『湖国と文化』価格改定のお知らせ

88 編集幸記(プレゼントコーナー)

季 刊 **湖国と文化** 第 193号 (1・4・7・10月1日 年4回発行)

発 行 **(公財)びわ湖芸術文化財団**
〒520-0806 大津市打出浜15-1
電話 077(523)7146 FAX 077(523)7147
振替口座 00910-9-310864
<https://www.biwako-arts.or.jp>
印 刷 (株)シバタプロセス印刷
電話 0749-63-6860 FAX 0749-62-2444

令和7年10月1日発行
定価660円(本体600円+税10%)
年間購読料は2,800円
(送料込み)
編集人 三 宅 貴 江
発行人 村 田 和 彦

☆ ©『湖国と文化』記事の無断転用を禁じます。 ☆落丁・乱丁の場合はお取り替えします。